# マネジメント

# 経営体制

基本的な 考え方

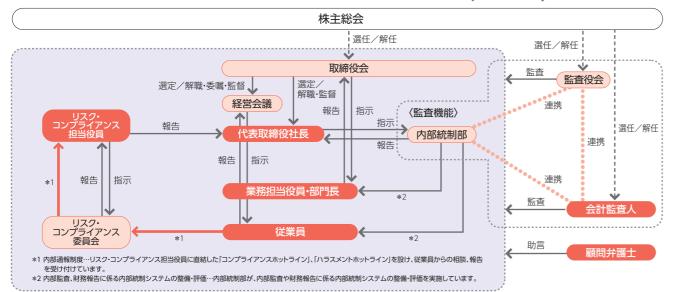
企業が継続的に発展していくためには、社会から存在価値が認められ、

信頼される健全な企業運営が必要です。理想科学は、コーポレートガバナンスの実効性を守るため、 内部統制システム評価結果の外部監査を受け、コンプライアンス教育やリスクマネジメントの 継続的な改善・強化に努めています。

## コーポレートガバナンス

● コーポレートガバナンス体制図

当社における会社の機関・内部統制等の関係(--> は選任・委嘱、→ は指示・報告・監査等を意味する)



詳細は当社Webサイトの「ガバナンス報告書/内部統制報告書」に掲載しています。 http://www.riso.co.jp/ir/

### 社外取締役の登用で さらに健全な体制に

監査役による監視・監督のもと、取締役会が業務執行につ いての重要な意思決定を行うガバナンス体制を採用してい ます。2012年6月からは、一般株主と利益相反を生じること のない立場 (独立役員) の社外取締役を取締役会に迎え、さ らに健全で透明性の高い体制を整備しました。

内部統制システムの整備・評価の実施部門として内部統制 部を設置し、「内部監査規程」に基づき、丁場、営業拠点およ び子会社等の会計・業務監査を行っています。また、内部通 報ホットラインを設け、通報者のプライバシーが守られるよ う配慮しながら、社員からのコンプライアンスやハラスメン トに関する相談・報告に対応しています。

#### 内部統制システムの評価を実施

「金融商品取引法」に定められた財務報告の適正性の確保 を目的とし、財務報告の信頼性に係る内部統制の整備を行 い、2008年度からその内部統制の評価を行っています。

評価の結果、2013年3月末時点で、当社グループ (理想科 学工業および関連会社)の財務報告に係る内部統制は、有効 であると判断しました。この評価結果は、外部監査人のあず さ監査法人による内部統制監査も受けており、評価および監 査の結果は、2013年6月に内部統制報告書ならびに内部統 制監査報告書で開示・報告しました。

また、当社では、常にコーポレートガバナンスの充実を 図っており、2013年4月にグループの統制強化をめざして、 「コーポレート本部」を新設しました。

# コンプライアンス

### 「遵法経営規程」を定めて コンプライアンスを推進

当社は、コンプライアンスを企業経営の基本とし、法令や 社内規程の遵守とともに、社会倫理や道徳を尊重し、社会の 一員であることを自覚した事業活動を行うよう努めていま す。具体的には「遵法経営規程」に基づき、実行組織体制や 内部通報などのしくみを明確に定めたコンプライアンスプロ グラムを策定し、継続的に取り組んでいます。

2012年度の当社の法規制および法規類の監視・測定、遵 守評価の結果、全て遵守していることを確認しました。行政 機関から罰金や行政指導は受けておらず、近隣からの環境に 関わる苦情も受けていません。

#### 教育・啓発を継続的に実施

当社は、役員および全社員が、「トップステートメント」 [RISOコンプライアンス行動指針] を深く理解し、実践でき るよう「コンプライアンスハンドブック」を配付しています。

また、コンプライアンスに関わるさまざまなモデルケー スをeラーニングで取り上げ、その問題点について解説し、 適切な行動が取れるよう継続的な教育を実施しています。 2012年度は、コンプライアンスに加えて内部統制に関する プログラムも用意し、教育メニューを拡充しました。



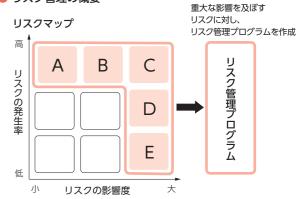
eラーニングの画面

## リスクマネジメント

#### リスクに応じた適切な対策を実践

当社は、会社法の定めに基づき「損失の危険の管理に関す る規程 | を制定しています。 重要な業務は、執行に伴うリス ク分析や対策の検討をしたうえで、経営会議や取締役会で審 議・決定します。また、「リスク・コンプライアンス委員会」 を 設置し、当社グループを取り巻くさまざまなリスクが発生し た場合の影響度などを分析・評価して、「リスクマップ」を作 成しています。グループ経営に重大な影響を与えるリスクに ついては、個別にリスク管理プログラムを策定し実行するこ とで、リスクの低減・回避に努め、統合的なリスク管理と体制 整備を推進しています。

#### ● リスク管理の概要



#### 情報リスクへの対策

事業活動に重大な影響を及ぼすリスクのひとつに、情報リ スクがあります。当社グループが保有する機密情報や個人情 報が破壊・改ざんされ、また外部に漏洩すれば、当社グルー プおよび関係者の方々に大きな損失をもたらします。こうし たリスクに備えて、「情報管理委員会」を設置し、情報セキュ リティに関するリスクの低減に取り組んでいます。

23 理想科学 環境経営報告書 2013